交換・派遣留学帰国報告書

学部・学科

国際学部・国際学科

留学先国名

リトアニア

留学先都市

ヴィリニュス

留学先大学

ヴィリニュス大学

留学先所属学部

Institute of International Relations and Political Science

留学期間（〇年〇月～〇年〇月）

2022年8月22日～2023年2月10日

学年（出発時）

3年

帰国報告書提出日

YYYY MM DD

2023 / 02 / 28

1. 留学先大学について

(1) 留学先大学の特長

1579年に創設された、世界的にもとても歴史のある大学。多種多様な学部が設置されており、幅広く学ぶことができる。

(2) 留学先大学のサポートについて

語学面でのサポート

留学先大学のコーディネーターをはじめ、英語で開講される授業の担当教員は流暢に英語を扱っていた。留学先の公用語は英語ではなかったが、問題なく現地での大学生活を送ることができた。

勉強面でのサポート

ムードルと呼ばれるプラットフォームを通して教員と生徒間で授業に関する情報共有を行っていたため、授業に関する資料などを簡単に入手することができた。

精神面でのサポート

授業やテスト、課題に関して何かわからないことがあれば、直接でもメールでも快く質問に答えてくれた。担当教員のほとんどとは気軽にコミュニケーションをとることができる。

生活・住居面でのサポート

交換留学プログラムに申請する際に、大学側から提供される学生寮が必要かどうかを聞かれた。

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

大学側から提供される学生寮は数カ所に分かっているが、少なくともその一つは最悪と言っても過言ではない程の酷さ。実際にそこで生活するうちに多少はその環境にも慣れるが、特に水回りの衛生面に関しては非常に劣悪。交換留学プログラム申請時にとりあえずの住居として学生寮に申請し、現地で数週間の寮生活に耐えながらアパートを自身で探すことを推奨する。学生寮は1ヶ月の費用が日本円で1万円以下と非常に安価なため、環境の悪さには納得する部分もある。環境か値段どちらを取るかで現地での住居を決めるべき。実際に1ヶ月の寮生活を経験して、環境は悪いものの生活自体に大きな支障はなく、フレンドリーな留学生たちに囲まれて生活することができる。個人的には一度寮生活を経験し、環境に耐えることができないと判断した場合は現地でアパートを探すことをお勧めする。(詳しくはメールで直接聞いて頂いて構いません)

(2) パソコンについて
PCの保有状況

- 日本から持参した
- 現地で購入した
- 保有しなかった

Wi-Fiの有無

- 有
- 無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

学生寮には基本的に無料Wi-Fiは無い。寮で生活していたほとんどの学生は、現地のSIMで月々約16ユーロ(日本円にしておよそ2300円)のインターネットを無制限に使用することができるプランを選択していたので、Wi-Fiが無くても困ることはあまりない。現地のSIMはテザリング機能を使用することができるため、PCを使う際はスマホからテザリングしていた。

大学での PC の使用可否

- 使用できた
- 使用できなかった

大学で PC を使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

授業中はいつでもPCを使用することができる。（ほとんどの学生が授業時間にPCを開いていた）大学の校舎内にはWi-Fiがある。

(3) 医療について

Health center（大学内施設として）の有無

- 有
- 無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

大学内の医療施設の有無に関してはわからない。また、留学中に通院はしなかった。

(4) 銀行口座について 留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

半年の留学だった私は、銀行口座開設に必要性をあまり感じず講座を開設しなかった。しかし、1年留学の生徒のほとんどは現地で銀行口座を開設していた。

(5) 異文化体験について 留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

リトアニアにはチップ文化があったため、現地のレストランやカフェを利用する際に必ずチップを払うようにしていた。また、気候が日本とは全くと言っていいほど異なるため、防寒対策は常に行うべき。現地の若者のほとんどには英語が通じるが、その他には通じない場合がほとんど。

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

していない

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

他のヨーロッパ諸国に比べてリトアニアは差ほど発展している国ではなく、移民の数も少ないため比較的安全な国であると言える。しかし、異国の地であることには変わりないため、常に身の回りには注意を払い、荷物などを取られないように気をつけていた。

3.後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報（HP や出版物等）を記入してください。

実際にリトアニアに留学経験のある学生のブログをウェブで探して見ている。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

変換プラグ、変圧器、防寒着（特にヒートテック）

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

多種多様な文化を持つ友人に恵まれた。お互い母国語ではない英語を使ってのコミュニケーションであったため、英語力は伸びた。自分自身で旅行などを計画することが多かったため、計画性と行動力も身についた。

語学力：

留学前－資格試験名称および点数（級）

IELTS: 6

留学後－資格試験名称および点数（級）

留学後に試験を受けていないため不明

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

現地人とのコミュニケーション（特に若者以外の人と）

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

10～20人の小規模クラス、成績評価は出席、貢献度、テストや課題から行われる。現地学生はどの授業でもとても積極的にグループワークや発表を行っていた。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

留学中は就活にほとんど取り組んでいなかったため、就活アプリを登録して気になる企業に関する情報を入手したり、先輩と面談を行っていたりした。

4.費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

(1) 留学時のレート

1EUR約144円

(2) 航空運賃

約20万円 (往復)

(3) 住居費

住居費 (月額)

学生寮 : 約1万円 アパート : 約7万円

住居費 (留学期間合計)

約28万円

(4) 食費 (月額)

約2万円

(5) 保険料

約53,000円

(6) その他

(7) 留学費用の合計

約70万円

5.その他 自由に記入してください。

気になることがありましたら、お気軽にメールにて質問等して頂いて構いません。

このフォームは 近畿大学 職員用 (@itp.kindai.ac.jp) 内部で作成されました。

Google フォーム